

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 運営推進会議を通して、地域の行事(盆踊り大会、秋まつり、地域ふれあい文化祭等)の案内をいただいているが、入居者様の重度化に伴い、年々外出が困難になってきている。	運営推進会議等を通して、ホームの現状を継続してお知らせし、認知症高齢者に対する理解を求める。	①全員は無理でも、地域の行事への参加を継続することで住み慣れた地域と繋がっていることを実感していただく。 ②事前に計画を立て、スタッフの人数を確保する為のシフト調整を行う。	3ヶ月
2	49 (22)	○日常的な外出支援 少し余裕が出来る午後からの時間帯は、居室で休息されている為、車椅子生活の入居者様の外出の機会が減っている。	入居者様の重度化に伴い、車椅子の方が増えている。たとえ10分、15分でも良いので、ホーム周辺を散歩する等、外気に触れる時間を作り、気分転換していただく。	①気候や体調を見ながら、一人ひとり個別に対応する。 ②わずかな時間でも外出することが負担になる人もいるので、無理強いはしない。	6ヶ月
3	7 (6)	○虐待の防止の徹底 虐待の意識はなくても、不適切なケアが原因で、入居者様がケガをされることがあった。	定期的にご本人やご家族と確認しながら、その時の状況に応じた望ましいケア、適切なケアの場を提供する。	①医療機関との連携をこれまで以上に図り、状況に応じて適切なケアが出来るよう勉強会等の機会を増やしていく。(より良いケアを行うために組織全体の問題として捉える。) ②医療機関、ご家族、スタッフ間での報告・連絡・相談を徹底する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。